

令和4年 6月 1日

入間市立東町小学校長

ハロ現象

今日の昼頃、6年生が太陽の周りに「輪っかがある」と教えてくれました。早速カメラ片手に外に出てみると、太陽の周りにきれいな虹が輪になって表れていました。これはハロ現象と言います。私が小さい頃は「太陽に暈がかかる」といって、次の日には雨が降るなどという言い伝えがありました。

厳密にいうと高いところにある薄雲が太陽にかかると、その氷の粒で光が乱反射して虹のように見えるんだそうです。珍しい現象かと思いきや、実はよく表れていて、人々が空を見上げることがなくなったので気づかなくなったただけだとか。前しか見ていない大人よりも、子どもたちのほうが視野が広いのでしょうか。

